

しゅん工・操業に向けた様々な取り組み

＜再処理工場本体の冷却塔（A4A）の工事について＞

1. はじめに

再処理工場のしゅん工時期は、再処理工場本体の冷却塔（A4A）の竜巻防護対策に相応の時間を要すること等を踏まえて、2022年度上期に変更することとしました。

今回は、2022年度上期しゅん工に向けた現在の工事状況をご紹介します。



工事現場の全景

2. 現在の工事状況

新設するエリアでは、飛来物防護ネットを支える基礎のうち「杭部」の施工や「地盤改良」を終え、11月から人工岩盤を作る部分の「掘削」作業を行っています。

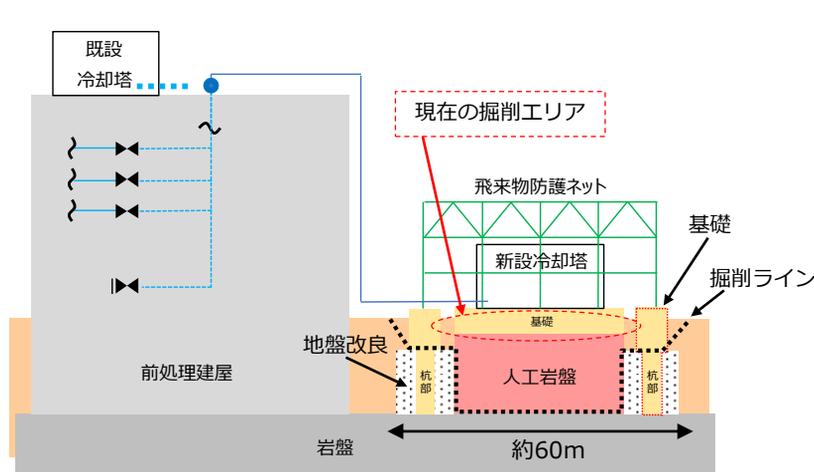
地上から岩盤までを掘削（約10～20m）し、完了後は、強固な岩盤上にコンクリートを打ち込んで人工岩盤を構築します。その上に基礎を構築し、地上に冷却塔を据え付けていきます。

年内に掘削を終え、年明けからは人工岩盤の設置を進めていきます。

大規模な工事となるため、安全を最優先に進めていきます。



掘削工事の様子



＜工事全体のイメージ図：東西側面＞

＜掘削について＞

- ・掘削範囲：約60m×約45m
- ・最大深さ：約20m
- ・重機：バックホウ2～3台
ダンプ最大10台

＜参考＞

- ・冷却塔の概略仕様
→約40m×約30m（高さ約12m）
- ・飛来物防護ネットの概略仕様
→約50m×約40m（高さ約20m）